

令和3年3月5日 「建築研究所講演会」の開催

(問い合わせ先)

企画部企画調査課 渡辺 春彦

Tel 029-879-0632

E-mail h-wata@kenken.go.jp

令和2年度建築研究所講演会

目的

建築研究所講演会は、年に一度(毎年3月)、建築研究所の研究開発成果や調査活動の報告を通して、住宅・建築・都市分野における最新の技術情報を広く一般の方々に提供するために開催しています。

日程

開催日時	令和3年3月5日(金)10時30分～16時20分(開場10時00分)予定
開催場所	有楽町朝日ホール(東京・有楽町マリオン11階)
特別講演	「都市計画法・建築基準法制定100周年を記念して」(仮題) 越澤 明 氏 北海道大学名誉教授
一般講演	6課題 その他パネル展示あり
その他	入場無料、要事前登録、座席指定制

※ 令和2年度建築研究所講演会の詳細は、今後、ポスター、チラシ、ホームページで御案内します。
また、内容については変更する場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

特別講演

- 北海道大学名誉教授の越澤 明氏をお迎えし、「都市計画法・建築基準法制定100周年を記念して(仮題)」について御講演いただきます。

越澤 明 名誉教授のプロフィール



1952年生まれ。

東京大学工学部都市工学科卒業、同大学院修了。神奈川県庁、北海道大学大学院教授等を歴任。専門分野は都市政策、都市計画。工学博士(東京大学)。

国土交通省の社会資本整備審議会、住宅宅地分科会、都市計画・歴史的風土分科会、歴史的風土部会の会長を歴任。2019年、都市計画法・建築基準法制定百周年記念事業で国土交通大臣表彰。

主な著書に、「東京の都市計画」(岩波新書)、「復興計画」中公新書、「東京都市計画の遺産 - 防災・復興・オリンピック」(ちくま新書)など。

建築研究所の研究者による講演

建築研究所が取り組んでいる建築・住宅・都市分野の研究課題を中心に、最新情報を御紹介いたします。

近年の建築物の強風被害と建研の取り組み	構造研究グループ シニアフェロー 奥田 泰雄
鉄筋コンクリート造建築物の耐久性に基づく健全性評価	材料研究グループ 主任研究員 松沢 晃一
官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)による研究開発	官民連携プロジェクト・チーム
国際地震工学研修60年の歩み	国際地震工学センター シニアフェロー 横井 俊明
水害に強い住宅の開発と普及をめぐる可能性と課題	住宅・都市研究グループ 主席研究監 木内 望
市街地の地震被害, 横から観るか, 上から観るか	住宅・都市研究グループ 主任研究員 阪田 知彦

パネル展示

1	鉄筋コンクリート造建築物の構造特性データベースを用いてばらつきを考慮した構造設計法に関する検討	構造研究グループ 主任研究員 渡邊 秀和
2	複数のエネルギー指標に基づく地域熱電併給システムの導入効果推定	環境研究グループ 研究員 上野 貴広
3	センサ・ロボット技術を活用した高度な避難安全性確保の可能性	防火研究グループ 上席研究員 鍵屋 浩司
4	ガス有害性試験における動物使用の見直しに向けて	防火研究グループ 研究員 趙 玄素
5	床の変形特性と日常の安全性, 快適性に関する諸性能の関係	材料研究グループ 研究員 福田 眞太郎
6	低層住宅用CLTパネル工法耐力壁の力学的挙動に関する研究	材料研究グループ 主任研究員 山崎 義弘
7	建物点検調査におけるドローン技術の開発	材料研究グループ 主任研究員 宮内 博之
8	民間建築工事におけるプロジェクトマネジメントの重要性と公共建築工事への応用可能性の検討	建築生産研究グループ 研究員 田村 篤
9	鋼製下地間仕切壁の耐震性に関する解析及び実験検討の紹介	建築生産研究グループ 研究員 沖 佑典
10	安全・安心な都市づくりに向けた水害リスク情報の活用可能性と課題	住宅・都市研究グループ 研究員 中野 卓
11	国際地震工学研修の成果事例	国際地震工学センター 上席研究員 原 辰彦
12	エルサルバドルにおいて実施された枠組組積造壁の構造実験に対するFEM解析	国際地震工学センター 主任研究員 諏訪田 晴彦